

試合会場レポート

[試合番号]特設2

[開催日]2017/10/22

[会場]ひたちなか市総合運動公園総合体育館

[観客数]1500

[開始時間]12:00

[終了時間]13:57

[試合時間]1:57

[主審]高橋 直也

[副審]井坂 友典

[記録員]小松崎 泰洋

男子：決勝戦

水戸啓明高等学校

監督：後藤 達哉

コーチ：

3	25	第1セット 【0:23】	17	2
	21	第2セット 【0:22】	25	
	21	第3セット 【0:24】	25	
	25	第4セット 【0:21】	21	
	15	第5セット 【0:15】	10	

霞ヶ浦高等学校

監督：岩崎 匡史

コーチ：染谷 佳紀

【 】内はセット時間

戦評

第70回全日本バレーボール高等学校選手権大会茨城県予選会の男子決勝戦は、初優勝を狙う水戸啓明高等学校と、4連覇を狙う霞ヶ浦高等学校との対戦となった。

第1セット、序盤は一進一退の展開であったが、中盤に内山が2本連続のブロックポイントを決め水戸啓明が流れをつかんだ。霞ヶ浦も柴が10本のスパイクを決める活躍で追い上げをみせるが、水戸啓明が危なげなく先取した。

第2セット、霞ヶ浦は柴だけでなく吉葉も活躍を見せる。お互い中盤までは1点差の好ゲームであったが、終盤水戸啓明にミスが重なり、霞ヶ浦が逃げ切った。

第3セットもリズムをつかんだ霞ヶ浦が、多彩な攻撃をからめてゲームの主導権を握る。水戸啓明も内山や清水の活躍により食い下がるが流れを戻すことができず、霞ヶ浦がこのセットも奪った。

第4セット、後がなくなった水戸啓明は序盤からエース内山が奮起し、大きく霞ヶ浦を引き離す。中盤霞ヶ浦は柴のバックアタックなどで食い下がるが、終盤は水戸啓明が友部の活躍も光り、一気に逃げ切った。

最終セットは、水戸啓明内山と霞ヶ浦柴の激しい打ち合いとなった。一進一退の攻防の中、水戸啓明は友部が要所でポイントを上げて振り切り、初優勝をつかみ取った。